

議会だより

2016.4.22

No. 169

山梨県昭和町議会
<http://www.town.showa.yamanashi.jp/>

しょうわ



安全に通学

(常永小学校南交差点・専門交通指導員さんも活躍)

町長の施政方針

主要施策3つの柱 ②

第6次総合計画スタート ④

一般質問 ここが聞きたい ⑩

多事争論・区長と議員の意見交換会 ⑩

地域住民と議員の対話集会 井戸端会議 ⑩

第2回 議員記者が行く ②②

小さくても 豊かなまちづくり!



主要施策3つの柱!

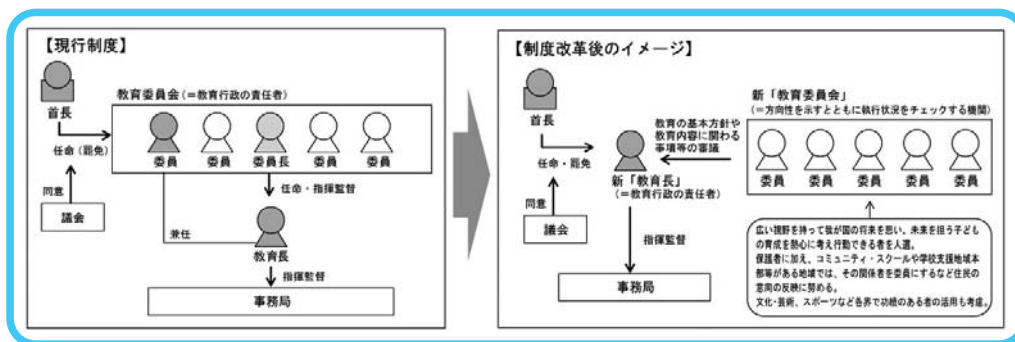
① 都市計画マスタープランと 緑の基本計画を策定

都市計画の視点から未来の昭和町の姿を描いていきます。



② 新しい教育委員会制度に対応

制度改革の目的である、さまざまな教育行政に関するニーズに迅速に対応できるよう、取り組んでいきます。



新旧教育委員会制度比較図

③ 子育て環境の整備

子どもの数の増加に伴い、常永小学校の教室数確保や、放課後児童クラブの施設整備や、保育料無料化に伴う出生数増加の対応として、新たな認定子ども園の開園を支援します。



増築された常永小学校

角野町長の所信表明(要旨)

地方版総合戦略

「まち・ひと・しごと創生総合戦略と人口ビジョン」を推進

人口は1,854人増加、増加率10.5%、全国第9位。また休日・平日の滞在人口率は町の人口の4.4倍（約86,000人）を超え、全国市区町村で上位20位以内に入る。

施政方針(要旨)

町民サービスの維持・向上を目指す6つの目標！

① 安全・安心なまちづくり

災害に対する備え（防災計画の見直し、防災行政無線設備の増設、洪水ハザードマップ・防災のしおり作成配布、町内コンビニと連携したAED設置、押原小井川交番設置など）を推進してきましたが、引き続き公共インフラの長寿命化を進め、個人情報保護策として庁内システムの見直しと強靱化を図ります。

② 参画と交流のまちづくり

住みよい町、住みたい町であるために、行政・町民・企業や各種団体が同じ方向を目指し、協働してまちづくりに取り組みます。交流人口の増加による波及効果、商工会とも連携し共に享受できるよう進めます。

③ 子育て支援

民間保育所6カ所、認定子ども園1カ所、特色ある保育教育を支援し、利用者負担軽減も継続します。児童の増加に対応し放課後児童クラブや、子ども医療費助成も中学3年生までを対象に拡充します。また、学校給食も町の負担を継続し安全・安心な給食を提供します。

④ 環境保全や道水路等の基盤整備

環境啓発イベント「エコしょうわ」の実施や、防犯灯などのLED化の検討を進めます。農業後継者の確保と不耕作地の解消のほか、各種助成事業を継続、基盤整備は各区の要望に基づき、道水路・河川改修・下水道など、優先順位を考慮して整備し、リニア中央新幹線の開通を見据えたアクセス方法も検討します。

⑤ 学校教育・生涯学習教育の推進

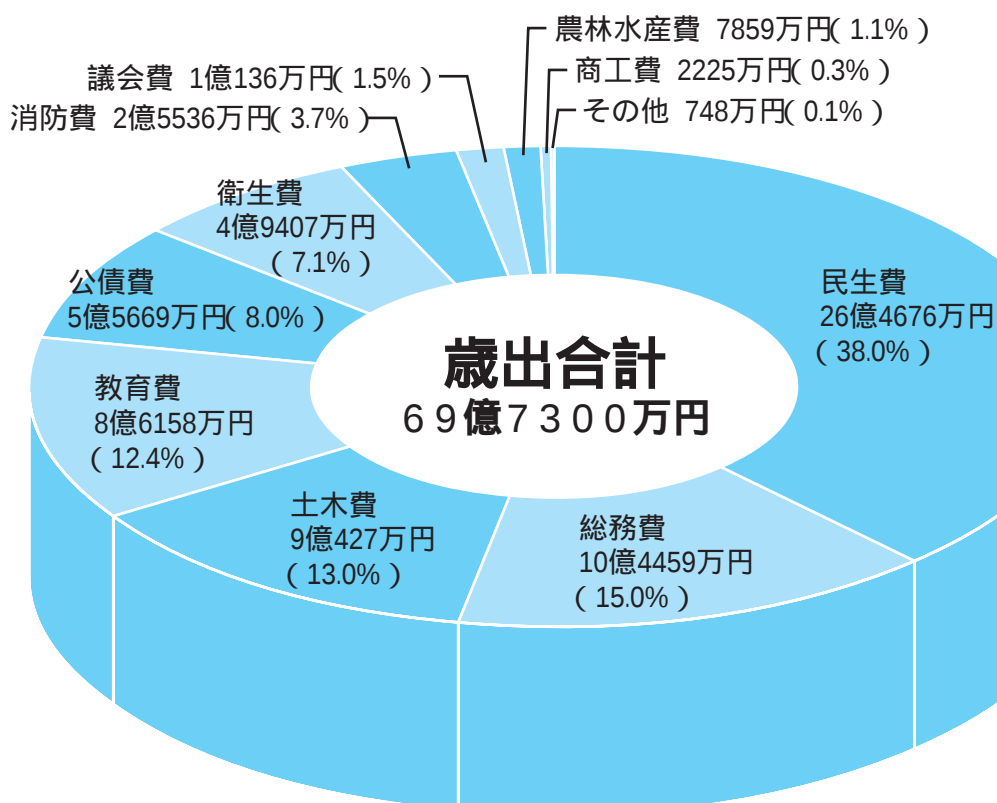
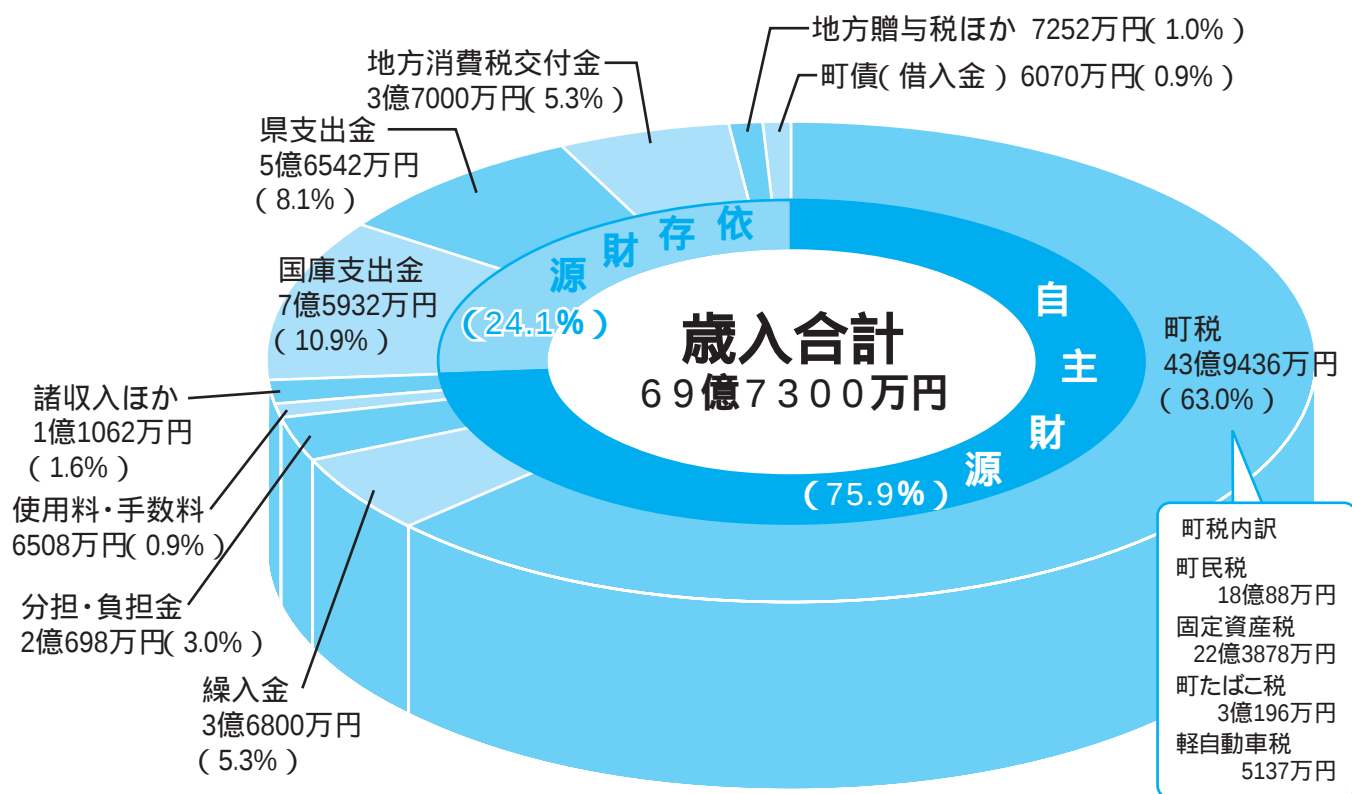
学校と教育委員会が連携して教育課題に取り組み、学力向上・英語教育・コミュニティスクール・ICT教育・実践的防災教育などを推進。また、風土伝承館 杉浦醫院を活用し、地方病の歴史を学ぶ郷土教育・生涯学習を推進、スポーツ振興計画も策定します。

⑥ 福祉健康のまちづくり

今後の高齢者人口の増加と少子高齢化社会の進行を見据え、健康寿命の延伸を重点施策とします。いきがいクラブやふれあいサロン等の活動支援など、地域での福祉活動を担う皆さまにご協力をいただきながら、福祉施策に取り組みます。また、障がい者福祉、母子寡婦、父子家庭の支援策についても、引き続き関係機関との連携を図り、さらなる福祉の向上に努めます。

計画スタート

クラブの拡充



数値は端数調整してあるため、合計が一致しない場合があります。

平成28年度
一般会計

第6次総合

放課後児童



押原児童館



子育て支援事業風景



庁内に常備されている車椅子

■ 平成28年度一般会計・特別会計予算

会 計 名		平成28年度予算	平成27年度予算	前年度比	可否
一 般 会 計		69億7300万円	65億7300万円	6.1%	全員賛成
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	20億8000万円	20億5300万円	1.3%	全員賛成
	後期高齢者医療	1億4530万円	1億3560万円	7.2%	全員賛成
	介 護 保 険	10億381万円	9億6558万円	4.0%	全員賛成
	介護サービス	1888万円	1613万円	17.0%	全員賛成
	下 水 道 事 業	10億492万円	10億21万円	0.5%	全員賛成
	湯水対策事業	512万円	612万円	16.3%	全員賛成
合 計		112億3103万円	107億4964万円	4.5%	

一般会計
の
主な事業

・ 児童支援費	2億3828万円
・ 児童手当	3億9012万円
・ 障害者福祉費扶助費（給付費等）	2億9107万円

平成27年度補正予算

情報セキュリティ強化

一般会計 全員賛成で可決

年度末を控えた予算編成で多くの費目が減額となる中、国・県等で確定している補助金額、また未確定な町税、補助金等をできる限り考慮し見込んだ。

歳入では法人町民税と固定資産税の増収を見込み、地方公共団体情報セキュリティ強化対策補助金、保育緊急確保事業費補助金をともに増額補正。

歳出では主に地方公共団体情報システム強靱性向上関連備品を増額補正し、保育所費の負担金と補助金を減額補正した。また剰余金として基金利息を含め1億9797万円を財政調整基金へ、1億79万円を公共施設整備等事業基金に積み立てた。

特別会計 全員賛成で可決

国民健康保険会計	5480万円(総額：21億6162万円)
後期高齢者医療会計	13万円(総額：1億3547万円)
介護保険会計	8829万円(総額：8億9676万円)
介護サービス会計	8万円(総額：1659万円)
下水道事業会計	2199万円(総額：10億4107万円)
湧水対策事業会計	228万円(総額：839万円)



昭和町内保育園

3月議会で決まったこと

平成28年3月定例会は、3月1日から16日までの16日間の会期で開きました。町長から提出された平成28年度一般会計および特別会計予算7案件のほか、27年度の補正予算7件、条例の制定・改正17件、その他2件、また人事案件1件の計34件を審議しました。

一般質問には8人の議員が13件について活発な質問・意見を展開し、町長の考えを問いました。

専決処分

- ・昭和町税条例等の一部改正（公布の日から施行）
- ・昭和町国民健康保険税条例の一部改正
- （公布の日から施行）
- 個人番号利用手続きの一部見直しに伴い、一部個人番号の記載を要しない。
- 専決処分については全員賛成で可決

条例改正

- ・情報公開条例及び昭和町個人情報保護条例の一部を改正する条例の改正
- 行政不服審査法の施行に伴う審査会の諮問等の改正
- ・税条例の改正
- 昭和町行政不服審査会条例の施行に伴い、災害時の期限の延長をするもの。
- ・固定資産評価審査委員会条例の改正
- 審査の申し出にかかる処分等の改正。
- ・人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の改正

地方公務員法の一部改正および行政不服審査法の施行に伴う報告事項等の改正

- ・手数料条例の改正
- 行政不服審査法の施行・開発許可事務移譲に伴い開発関係条項の追加と改正。
- ・職員給与条例の改正

人事院勧告および山梨県人事委員会勧告に伴う給与条例の一部改正。

- ・特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の改正
- ・議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の改正

職員給与条例の一部改正に伴い、期末手当の支給割合を改正。

- ・職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の改正
- 人事評価制度により降給降格、降号等を明確化する改正。

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の改正

育児または介護を行う職員の出・遅出勤務の項に、義務教育学校の前期課程または特別支援学校の小学部

を加える改正。

- ・職員定数条例及び昭和町証人等の実費弁償に関する条例の改正
- 農業委員会等に関する法律の条項を改正。
- ・重度心身障害者医療費助成金の支給に関する条例の改正

中学生以下の重度心身障害者が医療費助成金受給資格者の医療費窓口無料化。

- ・道路占用料徴収条例の改正
- 占用料の最低限を改正。

昭和町公共物管理条例第17条関係の公共物を使用する場合の使用料を改定。

- ・都市公園条例の改正
- 都市公園法・昭和町都市公園条例の規定に基づく基準に適合した公園を都市公園とするための改正。新たに彩の広場、国母公園、常永ゆめ広場を認定。

条例改正については全員賛成で可決

条例制定

- ・昭和町行政不服審査会条例の制定

公正性の向上や使いやすさの向上、国民の救済手段の充実・拡大等をするもの。

- ・昭和町法務専門職員の任用等に関する条例の制定

行政不服審査会の置くことによる法務専門職員（弁護士等）の任用等に関する必要事項を定める。

条例制定については全員賛成で可決

その他

- ・山梨県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更に伴う規約の変更

競争入札に参加する者に必要な資格の審査に関する事務を共同処理することに

伴い、事務の変更及び規約の変更を行う必要があるため。

全員賛成で可決

人事

- ・昭和町教育長の任命
- 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、新たに教育長を任命する必要が生じたため。

▼新任



さの かつ ひこ
佐野 勝彦氏
（飯喰区）

任期3年
全員賛成で同意

水源対策特別委員会

災害時の協力体制は

田中議員 災害時の協力井戸の拡大と、水質検査補助は。
副町長 補償井戸は水質検査をしている。協力井戸の水質検査補助も検討する。

手押しポンプ井戸は

三井議長 使用が可能か点検する必要があるのでは。
副町長 点検を実施し、パッキン等を交換するなど修理を行い、使用できるようにする。

地下水の勉強会開催を

中澤議員 地下水の認識を深めるため、専門家による水脈研究の講演を行う必要がある。
環境経済課長 地下水脈の地図作成や、山梨大学の教授による講演等検討する。
石原(一)議員 災害時における協力井戸の住民PRは。
副町長 個々にはPRしていない。消防団員には周知し、災害時は避難所へ水を届けることになっている。

地方分権対策特別委員会

ふるさと納税の現状は

三井議長 進捗状況は。
総務課長 件数250件、金額250万円。最高額20万円。返礼品として、時期のもろこしや柿などが人気。保養所契約を結んでいる松崎町と話が進み、本町と重複しないものを検討している。



ふるさと納税特産品

今後の社会福祉協議会は

林議員 町長が会長をしているが、外郭団体であるので別の人材の選考及び、事務室を他に配置する考えは。
副町長 会長については検討したい。事務局については空き家等の利用を含め、独立した場所を考えていきたい。

総務常任委員会

LEDの設置は

依田議員 防犯灯のLED、28年度の補助申請の流れは。

企画財政課長 4月中に調査費の申請受付、1カ月後に結果が出る。最高額800万円の補助金。

対象になれば6月の補正で対応し調査。調査終了後LED導入予定。補助金限度額は2,000万円。9月補正で行う。

信号機の設置は

葉袋議員 市川竜王線、常永小学校・上河東第二保育園から西に走る道路の交差点で、子どもが事故に巻き込まれないため、安協を通じて南甲府警察署に信号設置を依頼している。町でも強く警察に要望してほしい。
企画財政課長 道路改良

時に警察立ち合いで道幅を広げたが、信号の設置は無理との回答。最近頻繁に事故が起きている。通学路でもあり、強く南甲府警察署に要望する。

有功表彰を適用できないか

金丸議員 保育園を6年くらい経営している人がいる。町の表彰規程の対象にならないか。
総務課長 有功表彰・優遇表彰・善行表彰・感謝状があるが、すべて規則により定められ、それに基づき表彰が行われている。保育行政に携わっているが、規則の中では有功表彰に該当するのは難しい面もある。
善行表彰および感謝状に該当するか表彰審査委員会を開催し、協議を行い検討する。

教育厚生常任委員会

介護ボランティアに ポイント制を

河田議員 介護ボランティアにポイント制導入は。いきいき健康課長 システム的に困難である。

督促状の一括送付を

石原（一）議員 複数の督促状を一括で送付できないか。町民窓口課長 税目で納期も違う。事務も煩雑で一括送付は困難。

子どもの貧困問題は

河田議員 貧困児童への食事提供など、貧困問題の現状は。福祉課長 詳しい実態をすべて把握はできないが、相談がある度に教育委員会等と連携しながら対応している。

給食のアレルギー対応は

河住議員 学校給食費賃金で、嘱託・臨時職員が各1人増員になっている理由は。



学校給食

学校教育課長 アレルギー対応で1人（栄養士資格あり）。また、一般の調理員を1人増員。教育長 アレルギー対応を4人で全体確認は不安。調理の数も増加しており、もう一回チェックする体制を構築。田中議員 学校給食は1日何食分か。学校教育課長 児童生徒で1、737食。先生等含め1、900食弱。

産業土木常任委員会

ブランド米ヒノヒカリは

田中議員 現在の作付面積と生産者数は。

環境経済課長 耕作面積は204ヘクタール、生産者は7人。

遠藤議員 農地保全助成金の支払い金額は。

環境経済課長 419万円が支払われている。

木造耐震化と制度利用は

石原（高）議員 都市計画関係の負担金で、木造耐震工事が10戸中2戸しか進んでいない。耐震化と今後の進め方は。

都市整備課長 木造耐震化は広報誌と組回覧等で、町内全域に周知。個別に西条二区、紙漉阿

原の古い建築物51世帯にも、説明したが、制度を利用して耐震化を図る方がいないが、今後も引き続き周知に努めたい。

青年就農給付金の給付は

依田議員 今回1人で150万



給付金対象農地

円の予算見積り、昨年2人だが説明を。環境経済課長 就農して3年間給付が受けられる。1人は27年に終了、28年度でもう1人も終了する。

花のまちづくり推進は

樋口議員 花の町づくり推進事業補助金の説明を。

環境経済課長 飯喰と河西で花の町づくり推進事業を展開しているが、28年は河西区で協力体制が整わないため活動を休止。

施策を問う

ここが聞きたい

本会議の議事録はホームページで検索できます。議会事務局でも閲覧できます。

一般質問

Q 地区担当職員制度の活性化は

A より良い制度構築に取り組む



いしはら たかあき
石原 高明 議員

石原 地区担当職員制度の目的は、「協働のまちづくり推進のため、町民による自主的かつ主体的な地域づくりの支援をする」となっているが、この制度はあまりにも理想的で現実と整合が取れていない。そこで、制度の根

幹を「特定の人」から「特定な仕事」、「地区固定」から「各地区巡回」に転換する必要がある。制度の活性化を図るため、今後どのように取り組むのか。

町長

地区担当職員制度は平成22年10月から運用し、現在、24人の係長職にある職員を各区に2人ずつ配置している。区の裁量で自由に活用・運用できる地域活性化交付金制度も導入し、職員の人材育成、町民とのつながりの構築や円滑な行政事務の遂行に資する側面もある。制度開始から5年が経過したが、さまざまな意見もいただいております。庁内会議等で検討し、区長会とも協議していきたい。

Q 昭和ブランド政策は

A 昭和に合うブランドを協議

石原

昭和町産ヒノヒカリを地域ブランドに育てるには、一定の生産量確保が出发点で、栽培農家と栽培地区をまとめる取り組みとPR活動が必要だ。町の農業政策として生産量を増やす対策と、他の野菜なども合わせ昭和ブランドをどのように育てるのか、考えを聞きたい。

町長

J Aでは暑さに強いヒノヒカリの生産を推奨しているが、消毒・施肥作業が煩雑で、隣接農家にも影響があるものの、ふるさと納税の返礼品や町内外にもPRし、少しでも生産量を増やしていきたい。現在の収穫量単位の補助を、反別等の栽培面積での補助に切り替える検討もしていきたい。

なお、米・野菜を含めた昭和ブランドは、ブランド維持に耐えうる生産量が見込めるか、J A中巨摩東部や農業研究会等と協議し、農業者全体を支える農地保全方法も探していきたい。



区定例会の様子

Q 緑の基本計画は

A 中央道・甲府市側地域も 計画策定検討(平成30年策定が目標)



依田 茂巳 議員

依田 町の「緑とオープンスペース」は、環境改善や防災機能の向上・憩いの場、地域間交流や連携拠点等重要機能を有し、その要素と機能は貴重で充実した施策が求められる。基準を満たすために新たな公園が必要だが、町全体の公園配置の現状等を考慮すると、中央道・甲府市側地域に新たに計画されることが望ましい。

厳しい財政状況だが、公会堂用地と公園とを併せて考えると、非常に相乗効果が見込める。

今回策定する緑の基本計画の基本方針を伺う。



新公会堂と公園とを一体的に建設！相乗効果に期待！！

町長

都市公園法施行令や、昭和町都市公園条例で定める都市公園の配置及び規模に関する技術基準に定める都市公園の町民一人あたりの面積の基準は、町の区域内に10㎡以上で、町の市街地に5㎡以上となっており、基準を満たしていない。都市公園

条例を改正し、西条彩の広場・国母公園・常永ゆめ広場の3カ所を都市公園とする予定。

依田議員が指摘する中央道・甲府市側地域も計画策定の検討をしていきたい。

緑の基本計画は都市計画マスタープランと併せ、業務委託の契約を行い着手した。町民の意向を把握し、庁内会議や策定委員会で検討立案し、議会説明・住民説明やパブリックコメントを行い、都市計画審議会に諮問し、平成30年1月策定を目標に進めていきたい。

Q LED防犯灯を一括リース方式に

A LED照明導入調査費を補助申請の考え

依田 地域の防犯灯は各区で管理運営されているが、機器の劣化や運営方式が違いため、多くの課題点が出ている。LED化により、低炭素地域づくりや経費削減等が考えられる。同時に町全体の防犯灯や街路灯の

LED化を、財源負担の少ない、一括リース方式で進めることを提案する。

町長

各地区の防犯灯新設と、老朽化による設置替えの事業に対し、町は交付要綱に基づき、工事費の2分の1以内、補助限度額1灯に5万円の補助金を交付している。国は低炭素社会の創出を促進することを目的に補助金の交付を実施しており、本町でも来年度にLED照明導入調査費を補助申請したい。その結果でLED照明の設置替えをリース方式にするか、他の方式でLED化を進めるかなど、設置方式を考えなければならぬが、LED照明の導入は前向きに検討しています。

Q 都市計画マスタープランの見直しと進捗は

A あるべき姿を検討し計画策定を進める



たなか ひろよし 田中 博愛 議員

田中

昭和町内全域を見ると、行政の中心

にある押原地域で、市街地形成がなされていない。議会と地域住民との井戸端会議でも、押原地区と町内を含めた開発基準の意見が多数出ている。

また、都市計画道路も計画はあるが、手つかずで多くの町民の提言を繰り返してきた。

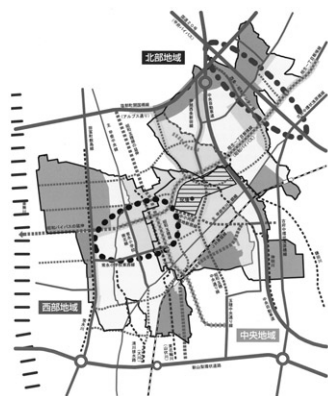
これらの提言を受け、町は努力を重ねて開発専門職員を配置し、開発の付帯条件である条例の検討をされているが、都市計画マスタープランの進捗状況と、今後、調整区域をどのように開発していくのか伺う。

町長

現在、業務委託契約を済ませ、計画策定に着手しており、平成30年1月策定を目標に進めている。

今後、町民の意向を把握し、庁内会議や策定委員会等で検討していく。

開発許可は、来年度から県からの事務移譲によ



土地利用基本方針

り開発許可を町で行う。それに伴い、昭和町宅地開発指導要綱及び整備に関する技術基準等を整備し、町のホームページに公表した。

都市計画マスタープランや緑の基本計画に基づき、都市計画法第34条11号の規定で、市街化区域に近接し、約50戸の建築物が50m間隔で連なっているような土地の区域内で、指定する用途の建築物の開発を許可する条例を制定し、平成30年4月から運用を始める予定で、区域と建築用途の指定は条例のなかで検討していく。

Q 農地の発展的転用を

A スムーズな農政業務に対応



たかの かずお 鷹野 一雄 議員

鷹野

地方分権一括法で、農地転用の許可権

限が国から地方自治体に移譲可能となる。農振除外は土地所有者の経済活動や、土地の有効利用、町の会計上のメリットもある。農地の権限移譲と農振除外に対する町の対応を聞きたい。

町長

農地転用の権限移譲を受けると、4%未満の農地転用許可業務が可能となるが、国・県からの移譲事務や関連事務量の増加が予想され、周辺市町の動向を注視したい。農振除外後の有効利用は町も協力し、農振除外を含む農政業務がスムーズにできるよう対応していきたい。

Q 農業委員会事務局体制は

A 事業全体を見直し検討

鷹野

農業委員会は農地・担い手対策を基軸に、地域農業振興に関する業務

Q 空き家・ 空き店舗対策は

A 状況を調査し 対策を検討



かわた
河田あけみ 議員

河田

国は昨年2月「空き家対策の推進に関する特別措置法」を制定し、市町村は基本指針を基に空き家の実態調査や整備・対策の計画を実施することになった。

今後速やかに、町でも実態調査等をすべきと思うが。

空き家対策に関する特別措置法の方針は、空き家や空き店舗等を福祉施設として活用する考えを問う。

町長

県は空き家等対策の推進に関する特別措置法の施行を受け、市町村担当職員を含めた会議を重ね、平成27年10月に「空き家実態調査マニュアル」を作成した。

町では庁内の改革会議で空き家対策を協議し、昭和町空き家等対策検討委員会設置要綱を定め、検討委員会を設置し平成28年度から調査を開始する。調査については、国や県からの補助金を受け、予算を1千万円計上し、



町内空き家

空き家等の実態を把握したいと考えている。空き家対策は地域住民の生命・身体・財産の保護、生活環境の保全、空き家等の活用と幅広い範囲になるので、まず状況を調査してから対策を検討したいと考えている。



圃場整備された農地

を推進しているが、事務局体制の整備が課題だ。町の考えは。

町長

農業委員会事務局は、平成19年から環境経済課が担当し現在に至っている。29年度の農業委員会制度の見直しもあるが、事務局2人体制から正規職員3人体制へと強化してきたので、今後の体制は事業全体を見直し検討していきたい。

Q 機構改革は

A 組織機構を見直す

鷹野

課題解決や町民の満足度を高めるには、組織による統制力と職員の能力発揮が重要で、職員数と質が大きな課題だ。機構改革はどこに重点を置き、将来像をどう考えているのか。

町長

行政課題が増大し、税収減など時代に即した取り組みが必要となっている。収納課の新設や高齢者の見守り機能強化、管理栄養士の配置、危機管理担当の配置、都市計画業務の充実・発展のため甲府市と人事交流など行ってきた。今後は、組織機構を見直し効率的で柔軟性ある組織体制を構築し、効果的な行政運営を行う職員配置に努めたい。

Q 天然ホタルの 発生地整備は

A シンボルとして 伝えていきたい



いしはら かずよし
石原 一好 議員

石原

昭和町の小・中学校の校章は全てホタルがデザインされている。

かつて町のホタルは天皇に献上した経緯などから、国の天然記念物に指定されたこともある。

現在、ホタル愛護会と共同で、職員が1年がかりで飼育したホタルの幼虫を川に放流しているが、沼公園東側では天然ホタルが毎年確認に見られる。研究施設等を建設し、天然ホタルの生息地として運営していつてはどうか。町の考えを伺う。

町長

「昭和町源氏ホタル愛護会」が発足し、今日まで、たゆまぬ活動が続けていただいている。大切なのは、本町のシンボル「源氏ホタル」の灯を絶やさずことなく、将来にわたって町民や子どもたちに伝えていくことだと思っている。沼公園東側の荒廃地を整備し、ホタルの研究施設等の建設については、今後予想される各施設の改修や建設の中で、財政



沼公園周辺

再質問

状況を考慮すると、実現は困難であると考えている。

石原

今川の東側に天然ホタルが数匹発生している。水がわき出ているところを整備すれば、ホタルの乱舞も夢ではない。町の考えは。

生涯学習課長

都市化が進む昭和町で、ホタルの乱舞をよみがえらせることは非常に難しい。財政状況や空き家問題等さまざまな問題があり、関係各課とも協議・検討する。

Q 魅力ある 消防団づくりを

A 団員報酬は 他市町より高額



かわすみ やすしげ
河住 保茂 議員

河住

消防団の充実は大災害への備えだが、団員の負担軽減など、積極的に参加しやすい消防団を目指すことが必要だ。

高齢者対象に民生委員と合同で防火訪問を。少年消防クラブの設立を。消防団員の報酬の見直しと定数問題は。団員退職時に功労金の支給を。

町長

高齢者宅は民生委員が訪問を行っているが、合同での訪問は消防団員の負担増が心配。訓練礼式は厳正な規律と、消防活動の基礎を作ること、小・中学校運動会での披露には生徒達に相当な訓練日数が必要となる。報酬は条例で規定されており改定は難しい。近隣市町と比較しても高額となっている。定数は消防団や区長会と協議し検討したい。消防団員退団時に、階級や勤務年数に応じ退職報奨金が支給されており、功労金の性格も持っている。

Q 消防団員の 支援拡充は

A 崇高な使命に深く感謝



ほり もん たち 議員

堀

昭和町消防団は「自分たちの地域は自分たちで守る」という崇高な理念で活動し、地域住民に安心安全を届けているが、自分の時間を割き、猛暑や極寒の真冬でも、住民のために身を粉にして活動している。

そこで、団員の活動を支援するため、温水プールやスポーツジム、テニスコートや杉浦醫院の資料館などの町営施設を、団員には無料化することを見たい。団員の苦勞を見れば、わずかながらの支援となるが、消防団の活動には体力も必要で、運動施設の利用はトレーニングにもなり、よりよい消防活動につながる。命をかけ、あらゆることを犠牲にして昭和町住民の生命・身体・財産を守る活動をしており、町をあげ最大の敬意を払うべきと考えている。新たな財源も必要なく、やる気があれば実現可能だ。早急に実施すべきだが町の考えを伺う。

町長

消防団員は、町民の「生命・身体・財産」を守るといふ崇高な使命のもと、生業を持ちながら献身的に活動に取り組んでいただいております。家族の皆さまにも深く感謝している。

本町には消防団の他に29のボランティア団体があり、それぞれのボランティア団体の皆さんも、自分の時間を割いて住みよい昭和町となるため、一生懸命ご活躍していただいている。そうした中、消防団員だけを無料化するということは、非常に難しいと考えている。



トレーニングルーム等の無料化を

Q 指定管理は

A 町民の利便性を 考慮し導入

河住

民間のノウハウを活用し、維持管理コストの削減と柔軟な発想を取り入れ、民間企業が参入しやすい条件整備を進めべきだ。また、審査委員会に専門家や町民を選定し、評価結果を公表すべきだが、町の考えは。

町長

押原公園は平成20年度から指定管理者制度を開始、23年度から指定管理者募集を公告し、ホームページ等に掲載した。

26年度の更新時には2者の応募があり、職員が選定委員となり書類やプレゼンテーションを採点し、指定管理者を選定している。その結果も公表している。今後、も町民の利便性を配慮し、課題をクリアしながら指定管理者制度の導入を検討していきたい。



少年・幼年消防(町外自治体HPから引用)

多事争論

平成28年2月12日（金）、町民の先頭に立って活躍されている区長と、意見交換会を開催しました。区長の皆さまからいただいたご意見をしっかり受け止め、議会活動に反映させていきたいと思ひます。
（一部のみ掲載）

参加者

（敬称略）

西条一区 名執忠義
西条二区 込山正一
清水新居区 保坂一男（会長）
西条新田区 阿井美代子
押越区 海野謙
河東中島区 山本哲

紙漣阿原区 武井啓吉
築地新居区 福田昭人（副会長）
飯喰区 小澤勝己（副会長）
河西区 山畠実
上河東区 向山晃
上河東二区 河西芳彦

（以上12区長・ほか町議会議員）

議会は緊張感持ち
議論を尽くすべき

区長会 一般質問を傍聴した申し合わせで関連質問しないそうだが、全てのことを議員は知るべきだ。議員16人がまとまっているという意識で、みんな議論を尽くすべきではないか。

議会 会派があるところは代表質問や一般質問の中で、その会派の人が関連質問をしている議会が多い。1時間以内の一問一答方式で、納得がいくまで繰り返し質問でき、関連質問があるなら委員会質疑か、もしくは次の議会で質問する。

議会情報をネット
中継できないか

区長会 議会の情報公開をもっと活発にしたらどうか。ネット中継をする考えはないのか。

議会 28年度予算に無料で開設できる本会議一般質問のネット中継（ユーストリム）と、本会議の議事録検索システム導入の予算付けを申し入れたが、ネット中継は地方議会（町村）で、

議会の運営方法や事務局体制から時期尚早であり、議事録検索システムのみ予算化される予定。

街灯のLED化を
進めるべきだ

区長会 平成33年に、今の電球・蛍光灯の生産が終了し、LED化の準備が必要になる。町の負担でLEDに換えてもらえないか。例えば街灯の電気料が年間約80万円くらいだが、LEDに換えれば約半分くらいになると聞いている。ぜひ検討してほしい。

議会 3月議会で一括リース方式について一般質問を予定している。

基本計画を議決事件
にしないのは？

区長会 町の基本計画をなぜ議会の議決事件としないのか。町の最重要課題を議会が審議しないのはおかしい。南アルプス市は完熟農園を議決事件としていなかった。ので、今になって採めている。

議会 平成28年度から第6次総合計画がスタートする。基本構想、基本計画、実施

計画の3本を合わせて総合計画が形成されるが、23年の地方自治法改正で、市町村の基本構想が議決事件から撤廃されたことから、26年第4回定例会で議会基本条例を改正し、基本構想を議決事件として定めた。



区長会の様子

町の発展と再発見を目指す！

改革推進会議を開催

平成28年3月2日

甲府昭和高校との連携事業および意見交換会（交流会）

昭和町 再発見プロジェクト

昭和町の魅力や課題を調査・研究し、昭和町議会に課題解決案を提案して、住みよい環境づくりに貢献したいという申し出が甲府昭和高校からあり、昭和町議会としては実施する方向で協議していくことに決定した。

目的

昭和町議会と連携して、昭和町の魅力と課題を地元高校生が研究・調査する。

住みよい環境にするための課題を設定する。

各課題を解決するための方策を考える。

昭和町議会に課題解決案を提案し、住みよい環境づくりに貢献する。

将来、地域リーダーに、また、国際的に活躍するリーダーへと育成する。

水源対策特別委員会を開催

平成28年2月26日

研究内容

- ・水資源の起源（住民等に説明するための情報）
- ・滞留時間（汚染等が起きた場合の安全性の証明、危機管理のための情報）

上記2項目が水源の情報として行政が把握すべき重要なものである。

全国的に見ると水道水の水源として表流水が6割、地下水が4割だが、山梨県は水道水の水源が表流水4割、地下水6割と地下水が豊富である。

水源の利用は、事業者も含め水資源の情報を共有しどのような経緯で使われているか把握すべき。その町だけの資源としてではなく、釜無川から来る甲府盆地一帯の水資源として捉え、使っていかなければならない。

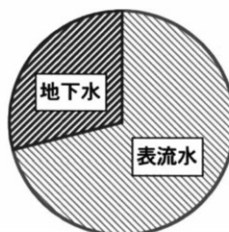
講師 山梨大学 国際流域環境研究センター

教授 風間ふたば

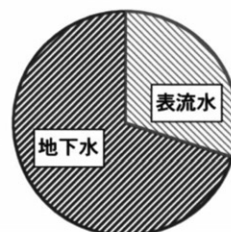
特任助教 中村高志



全国平均



山梨県



水道原水に占める表流水と地下水の割合（平成9年度）

表流水：河川水、湖沼水、ダム水

地下水：湧水、伏流水を含む



井戸端会議

地域住民と議員の対話集会

(紙面の都合上、一部意見要旨のみ掲載)

河西区(第7回)

12月15日 区公会堂

- 出席者 区民26人
- 参加議員 教育厚生常任委員会
金丸富一 河田あけみ
河住保茂 石原一好
三井 猛議長
- 地元議員 葉袋義久

おもな意見・要望と議会の対応

Q マイナンバーの申請書類が届いたが、どんな時に使用するのか、通知カードを申請したほうが良いのか聞かれた。役場に専門の窓口を設置してもよいのでは。

A 町で約8、300世帯あるが、受け取っていない方が約1、000通ある。高齢者世帯の方がマイナンバーを正しく理解できるよう、説明・手続等、PRも含め対応策を当局に伝える。(当局) 町民窓口課で対応。広報やホームページでPRする。電話での問い合わせは専用電話を設置している。(234, 5144)

Q 国勢調査を各組長が依頼され各戸調査したが、住



身延線の柵工事を
早めに!

人は勤務形態がまちまちで仕事をしながらの回収は大変だ。他に依頼することもある検討されたい。

A 他の区も苦労している。アパートは留守や応答しない方も多く、粘り強く訪問してほしい。地域と繋がりのある方を推薦していただいている。

Q 身延線の事故後、町で対応できる所は柵等を設置したと発表があった。JRも柵等の設置を進めてほしい。

A 町側の15力所の設置は終了。JRが行う2力所の柵工事は完了、3力所も計画的に工事予定。

西条二区(第8回)

1月9日 区公会堂

- 出席者 区民27人
- 参加議員 教育厚生常任委員会
石原高明 金丸富一
河田あけみ 河住保茂
石原一好
三井 猛議長
- 地元議員 依田茂巳

おもな意見・要望と議会の対応

Q 多目的広場とはどういう施設なのか。

A 常永土地区画整理地内にあり、常永小学校の南側に隣接。芝生広場や自転車で遊ぶ場所などを備えた広場で、工事が遅れているが、もうすぐ完成する。

Q 鎌田川は水辺公園のところもあり、大雨が降ると消防団が警戒している箇所。の改修や、道川も子どもたちがおりられる箇所があり、流されることも起こりかねない。その対応策は。

A 川底のジャリ砂が積もり底が上がっている。町では定期的に県・国にお願いしている。道川も危険箇所



鎌田川の安全対策は

はかさ上げて安全策をとっている。

(当局) 国は100年に1度の確率で起こる大雨を想定した洪水ハザードマップ見直し作業を行い、改訂版を作成する予定。

Q 町の人口は増加しているが、一戸建てのアパートの空き家が増加傾向で、地域の治安が不安だ。対策は。

A 空き家を更地にすると税金問題があり取り壊せない現状がある。空き家は年に1回持ち主に連絡を取っているが、本人・家族等が遠くにいて対応できないことが多い。委員会に取り上げ、当局の対応を質したい。

押越区(第9回)

1月16日 区公会堂

- 出席者 区民26人
- 参加議員 総務常任委員会

林 和仁 依田茂巳
田中博愛 塚原将司
鷹野一雄
三井 猛議長
● 地元議員 石原高明

おもな意見・要望と議会の対応

Q 押原小は27年度が1クラス構成の人数しか入学していない。校舎は立派で教室もたくさんあり、もったいない状況だ。廃校になっては困るので地区の開発を進めてもらいたい。市街化調整区域の開発はどのような状況か。

A 甲府都市計画区域に含まれ、市街化区域と市街化調整区域に分かれ、押原地区は町の市街化調整区域の7割くらい。開発許可事務の権限を県から町に移譲し事務がスタートする。町が市街化調整区域内の開発に関する条例を制定できるように、計画に基づき開発条例を定め、30年度から運用を始める。

Q 押原公園内の園路は凹凸があり歩きづらい。補修はできないか。

A 木製チップを固めた舗装改修は、高額な工事費を要するが、国庫補助金の対象事業となる。都市公園の長寿命化計画策定が条件で、耐久性のある舗装を計画している。摩耗で損傷が著しい箇所は補修を検討する。

Q 下水道整備の計画は。

A 県道箇所を順次進めていく予定。特に、押越区・河東中島区・紙漕阿原区は優先的に進めている状況。ちなみに町の普及率は75・9%で水洗化率は91%。



市街化調整区域の開発を進めてほしい!!

河東中島区(第10回)

1月18日 区公会堂

- 出席者 区民18人
- 参加議員 産業土木常任委員会

中澤康夫 葉袋義久
遠藤辰男 樋口敏夫
堀 門太
三井 猛議長
● 地元議員 鷹野一雄

おもな意見・要望と議会の対応

Q 地区の街灯をLEDにしている。町でLED化を進めている区はあるか。押原公園の太陽光電灯がついていない。

A 押原公園は散歩する人が多く朝夕の時間帯に電灯がついていないと言われる。34基すべてのバッテリー交換し点検したが、天候の影響もある。上河東、築地新居区に青色電灯があり、防犯に効果があるがLEDではない。

Q 山伏川の桜並木沿いに照明がなく、大人でも夜は怖い。人が夜でも歩けるように照明を考えてほしい。また、桜の根がアスファルトを持ち上げ、桜がかわいそうだ。A 桜並木の照明は以前街灯を付けたが、稲の成長に差しさわりがあ、現在は点灯していない。枯



かわいそうな桜
なんとかして

れたところは植え替えているが、アスファルトを剥がすまでには至っていない。桜並木の周辺は公園計画もあり、大事な桜を保護していきたい。

Q 河東中島区の98%が市街化調整区域。条例制定時に住民の意見を聞く場を設けてもらいたい。

A 都市計画マスタープランと緑の基本計画を策定する中で今後検討します。

西条新田区(第11回)

1月28日 区公会堂

- 出席者 区民24人
- 参加議員 総務常任委員会

林 和仁 依田茂巳
田中博愛 塚原将司
鷹野一雄
三井 猛議長

おもな意見・要望と議会の対応

Q 区内には小さな公園があるが、子どもが遊べる公園や避難時の集合地がない。公園整備を行ってもらいたい。

A 区で用地確保が必要。耕作放棄地を借り活用できないか、町に要望もしている。都市計画マスタープランの計画見直しに合わせ、町で検討している。

Q 街灯の灯具が色あせて黄色くなり、カバーも劣化している。明るいLEDに変更できないか。

A 街灯管理は区で行っているが、防犯灯の新設や設置替えは区の事業として実施しており、町は経費の半分(1灯につき限度額5万円)を補助している。議会でもLED設置を要望している。



Q 小・中学校では給食費が500円負担増となったが、町補助は。

A 給食委員会で検討し、決定に至っている。いままで職員の方がやりくりしてきたが、現状の費用では厳しいということ。理由は物価上昇で、食材も値上がりしている。消費税が8%から10%になる時点で、再度協議することになる。

紙漕阿原区(第12回)

2月28日 区公会堂

- 出席者 区民37人
- 参加議員 産業土木常任委員会

中澤康夫 葉袋義久
遠藤辰男 樋口敏夫
堀 門太
三井 猛議長
田中博愛 石原一好

おもな意見・要望と議会の対応

Q 井戸水検査は希望により実施しているが、結果の公表を区、町全体とすべきだ。また、災害時の協力指定井戸は安全のため、詳細検査をしたほうが良い。水質検査費用の補助は。

A 毎年1回、町で水質検査を全体に呼びかけ、希望者対象に検査し、異常の有無にかかわらず本人に連絡している。サンプル井戸は検査結果を広報で公表している。災害時協力指定井戸は消防団には知らせてある。水質検査費用補助は検討する。

Q 紙漕阿原区では今川の清掃を積極的に行っているが、近隣の町ではどうか。

A 中央市との境は旧玉穂地区で、そちらは川底がコンクリートのた



め清掃の手間がかからず、特別な作業は必要ない。

Q 沼公園の知名度が低い。イベントなど開催し、知名度を高めるようにPRしたらどうか。

A 自然発生しているホタルもいるので、湧水を利用して「ホタルと湧水の里・沼公園」としてPRしていきたい。5月26日に沼公園で県植樹祭が開催されるため、知名度を高めていきたい。

追跡



あの一般質問は どうなった？

議員の質問に、当局がその後どのように対応し、どうなっているのかを追跡・検証してみました。



引きこもりに対する取り組みは

平成26年12月議会 質問者：河田あけみ議員

問 3年前、内閣府の調査で70万人が引きこもり状態にあるという結果が出たが、本町における現状は。

また、相談窓口の活用、就労支援、講演会の開催等について町の考えは。

答 町独自の就労支援は困難、講演会は広域的な開催がふさわしいと考えている。



元西条駐在所

その後

地域安全ステーションの一部を引きこもり経験者らが支えあうことで、社会参加を促す一般社会法人「やまなしピアカフェ」と連携して運営する社会参加促進を目的とした「ピアハウスしょうわ」を開設し、社会参加が困難な方の居場所づくりと、法人による就労支援等をサポートしていく。

研修報告

研修会 山梨学院大学との研修会（1月15日）
「新しい教育委員会制度とその課題」
講師：外川伸一教授

視察受入 愛知県田原市議会広報広聴特別委員会
行政視察受入（1月13日）
「議会だよりの編集について」

視察受入 大阪府泉南郡田尻町議会行政視察受入（1月19日）
「財政抛出について」

視察受入 長野県山形村議会行政視察受入（1月21日）
「議会基本条例の第26条第3項の作成経緯について」

視察受入 埼玉県滑川町議会行政視察受入（1月28日）
「議会基本条例、井戸端会議、町長の反問権、議会だよりについて」

視察受入 奈良県町村議会議長会行政視察受入（1月29日）
「議会活性化への取り組みについて」

視察受入 福井県永平寺町議会行政視察受入（2月4日）
「町議会災害対策などについて、議会モニターについて」

視察受入 福岡県志免町議会行政視察受入（2月8日）
「議会改革について」

委員会 水源対策特別委員会（2月26日）
「甲府盆地の地下水の現状と共同研究内容の概要について」

第2回 議員記者が行く

議員記者が行く！のテーマは「町を守る」。町内で活躍する人々にスポットを当て、活動の姿を追っていきます。今回は専門交通指導員さん2人を取材しました。

専門交通指導員 依田さん 杉山さん の一日

議員記者が行く！第2弾の今回は、専門交通指導員の依田さん、杉山さんをお伺いいたしました。よろしくお願いいたします。



Q 早朝よりお忙しいところありがとうございます。専門交通指導員さんは2人で活動していますが、具体的なお仕事は。

A はい。朝の街頭指導から、夕方は子どもたちが下校するときの巡回、子どもたちから高齢者の方々の交通安全指導を行っています。また、路面へのストップマークや交通安全施設の点検、さらに啓発活動の一環として、交通安全の旗などの設置も行っています。



Q 町の方々への交通安全の取り組みを、指導・サポートしているんですね。交通安全指導の中で、楽しいこと大変なことなどありますか。

A 朝の街頭指導で、子どもたちの笑顔や元気な声から、大きな元気をもらえます。おじいちゃんやおばあちゃんとお会いし、そこからいろんな方と繋がることができ、貴重な機会をいただいています。大変なことは、雨の日の街頭指導。子どもたちは傘で視界が悪い状況なので、指導充実を図ったり安全確保に努めています。



Q 町の方々へお伝えしたいことは何ですか。

A みなさんが交通事故に会わないよう願っています。被害者・加害者、どちらにもならないよう、私たちは、交通安全についてみなさんにお伝えしていきます。



記者 本日はお忙しいところありがとうございました。今後のご活躍で、さらなる町の交通安全のためにお力を発揮していただきますようお願いいたします。

依田・杉山さん ありがとうございます。昭和町の安全・安心を進めるため今後も頑張ります。みなさま方のご協力をお願いします。

議会クイズ

正解者の中から抽選で5名の方に
図書カードをお送りいたします。

【ヒント】 議会だより169号(この号)を読んでください

空欄に当てはまる言葉を入れてください。

- 1 平成27年度、当議会が
“全国町村議会広報表彰第○位”を受賞!
- 2 角野町長施政方針 基本とするのは○つの柱
- 3 第6次○○○○スタート町民サービスの
維持・向上を目指す6つの目標

前回の
お葉書で

こんなご意見を
いただきました!

「議員記者が行く」のために読んで
いただきました。町のために尽力
してくる人々にスポットをあてた
おもしろい企画だと思います。

(39歳・女性)

感想 平成9年に長野県(長野市)
から転勤し、昭和町に家も
建て、娘2人も嫁ぎました。昭和町
は住み良く、環境も良い。発展を祈ります。

(70歳・女性)

《応募方法》

はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢・議会だよりを読んだ感想」を記入してください。FAXやメールも受け付けます。

議会への要望・意見等もありましたら、お受けします。

《あて先》

- 〒409-3880 昭和町押越542-2
昭和町議会事務局「議会クイズ係」宛
- FAX: 055-275-0370
- メール: gikai@town.yamanashi-showa.lg.jp

《しめきり》

5月末日 消印有効



168号クイズの答え

名取・加美・郡山
71
消防団
6

昭和町も文化に力を入れていただこうとして、
大勢の人達に越えて来てもらい、郡から市に
していただくの、と思います。
。議会の評価、が1点と言うので、次回、
10点を目指して、少なくても、町議会により見る
ように声掛けをします。又、私自身も議会を傍聴
したいと思っております。

(69歳・女性)

議員県外視察研修の特集がよかった。

他の地域の取り組みを参考にして
住みやすい昭和町を目指した取り組み
を進めてほしい。

(女性)

かなり遠方から昭和町議会を多数視察に
来られてるんだなと感心しました。
県外の方から見た昭和町議会の感想も
ぜひ聞いてみたいです

(45歳・女性)

青空と緑と産業のまち「昭和町」に住む
皆様にご意見・ご感想を伺いました。

西条二区に住んで



西条二区

秋山

哲孝さん

私の出身地は富士川町（増穂町）です。釜無工業団地内の会社に勤務し、27歳の時に2児の父親になり「子どもを育てるには昭和町が一番」という妻（西条二区出身）の意見から、昭和町での在住が17年経過しました。

昨年4月から西条二区環境保健の役員を受け、町や区の行事に参加することで、地域や役場の方たちと関連も生まれ、話しをしてみるところわぬところで知人との繋がりが発見され、後の活動に生かされることに喜びを感じています。

役員として一年を振り返ると、感心させられたことが多くありました。井戸端会議や地域を考える会等の出席率が高く、これから起こるであろう問題に対し、真剣に取り組む意思のある方が多いということ。昨年の9月から10月、国勢調査員として担当した区域の人たちから90%以上の回答をいただきました。まじめで真心があり、自発的な協働によって町が進歩していることを感じ、これが昭和町民の気質であり町民性だなと思いました。

私の廻りにいる人たちが良い人ばかりなのですが、私は幸せです。役員の任期もあと1年ですが、皆さまの役に立てるよう、頑張りたいと考えています。

地域での交誼が財産



上河東区

小松

勝さん

私が旧中富町の田舎から上河東区に移り住んで、早いものでもう37年が経ちました。そのころは昭和町も田舎で、県下有数の穀倉地帯だったことが偲ばれる豊かな田園風景が広がっていました。

常永駅裏の自宅2階からは雄大な富士山をはじめ、南アルプスや八ヶ岳まで一望でき、360度のパノラマに感激したことを覚えています。近隣に住宅が立ち並び、大型小売店が相次いで進出して、その風景も様変わりし、当時とは隔世の感がします。

上河東区の方々も転居してきた私に優しく接していただき、私が60代後半の今まで事業を続けてこられたのも、区をはじめとする昭和町の皆さまとの交誼があったからだと感じています。

私も、当初から少しでも早く地域に馴染もうと、町や区の行事などに積極的に参加し、保育園の保護者を皮切りに、育成会、消防、体育指導員、商工会など、地域でのお付き合いも広げさせていただき、それが今の私には大きな財産となっています。

今後は、これまでの恩返しのため、年々発展する昭和町のお役に立てればと思っています。

◆広報表彰

全国町村議会議長会は、平成27年度町村議会広報表彰を行い、最優秀賞の山形県川西町議会を含む入選10紙のほか、表紙写真賞4紙、奨励賞12紙が選考されました。昭和町議会広報164号で応募、全国第4位を受賞しました。

平成27年度山梨県広報コンクールの審査の結果、昭和町議会広報165号で応募し、議会広報紙部門で県第2位を受賞しました。

◆新事務局員紹介

議会事務局員に小澤友陽氏、田中みさ子氏が配属



小澤友陽氏



田中みさ子氏

4年間、議会事務局員として勤務された磯部千鶴氏が産休に入りましたので、4月1日付の人事異動で、後任として小澤友陽氏（新任職員）、田中みさ子氏（企画財政課）が議会事務局に配属となりました。今後ともよろしくお願いします。

◆広報編集特別委員会

委員長 石原 高明
副委員長 堀 門太
委員 林 和仁
金丸 富一
石原 一好
依田 茂巳

◆議会を傍聴しませんか

次回定例会は6月8日（水）開催予定です

議会事務局 ☎275-8842